

甌島におけるワカメ増殖試験

北薩地域振興局 林務水産課（薩摩川内市上甌駐在）

【背景・目的】

県内の多くの海岸で藻場が減少しており、甌島も例外ではない。藻場の回復等に対する漁業者の関心は高く、漁業者による藻場回復等の取組を後押しする手法が必要である。そこで昨年度に引き続き、ワカメを利用した藻場造成の可能性を検討することとし、本年度はワカメの育成場所や食害生物の影響を検討した。

【普及の内容・特徴】

ワカメ増殖試験は甌島地区水産業改良普及事業推進協議会を事業主体とし、令和5年2月から同年5月までの約4ヶ月間、薩摩川内市上甌町平良の平良漁港内で実施した。

垂水産のワカメ種糸（たこ糸）100mをクレモナロープ（約φ1.2cm）にらせん状に巻き付けて、水深約1mの海中へ展開して育成した。食害生物による生長への影響を確認するため、試験区Aは食害防除網（10m×10m×水深4m）を設置してこの内に展開し、試験区Bは食害防除網外に展開した。

【成果・活用】

過去の甌島におけるワカメ増殖試験結果（R2, R3）から、魚類の食害によるワカメの生長阻害を防ぐため対策を講じたが、試験区A, Bともワカメは生長しなかった。

試験区A（食害防除網内）では、設置2週間後は魚類による食害後は見られず約30cm程度まで生長したものの、その後葉体が見られず生長しなかった。試験区B（食害防除網外）では、設置2週間後に生長した葉体の先端に魚類による食害跡を確認し、更にこの約1週間後には葉体が見られなくなり、その後も生長しなかった。

箱眼鏡で食害防除網内を観察したところ、多種類の魚類を多数確認した。今回設置した食害防止網は、網の上部に浮子、下部に重りを付け、海底から海面まで網を立ち上げて魚類の侵入を防ごうとした。しかしながら、試験地の水深に対し食害防止網の網丈が短ったため、満潮時等に食害防止網の上部又は下部から植食性魚類が侵入して食害が生じたためワカメが生長できなかったと思われる。

当地区における植食性魚類による食害の圧力は思いのほか高く、次年度以降は食害防止網の上部や下部も網で覆うなど、徹底した植食性魚類対策が必要と考えられた。

【その他】

試験期間中の甌海峡の水温は平年値より高いものの、昨年や一昨年と大きな差はなく、ワカメの生長を阻害するものではないと考えられた。



図1 試験地位置図 平良漁港：第4種漁港（県管理）



図2 食害防止網の設置状況



図3 試験区A (R5. 2. 22撮影)



図4 試験区A (R5. 5. 11撮影)



図5 試験区B (R5. 2. 22撮影)

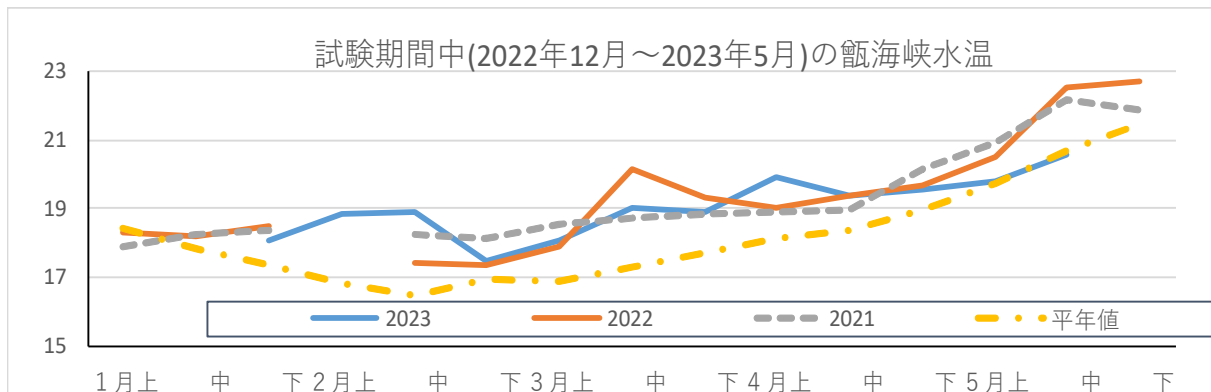


図6 試験期間中(R3年12月～R4年5月)の甑海峡水温